



新年度のあいさつ

お花見のニュースに心浮き立つこのごろです。新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。2、3年生の皆様、ご進級おめでとうございます。今年度の入学生確保においてはなかなか厳しいものがありました。18歳人口の減少と相まって、水戸方面に新たに2校の看護学校が開学したことが要因と考えられます。しかし、入学生確保もでき、学生数は1年生40名、2年生41名、3年生28名の計109名でスタートします。これもひとえに、会員の皆様や関係者の皆様のご支援の賜物と心から感謝申し上げます。

更なる発展のため、平成26年度は、次の目標のもと教育実践をしております。まず、第一に「国家試験全員合格達成」を掲げ、教員のかかわりの強化、補習授業の実施等をしてまいります。そして、この学生たちの教育を支える教員の質向上のため「専門職者としての自己研鑽」をしてまいります。次に「受験生の増加」を目標に掲げ、優秀な学生を確保してまいります。そのため5月から高校訪問やオープンキャンパスの開催などPR活動を早期から実施します。

看護学校は卒業までに1割の人が欠けてしまうといわれています。当校は中途退学する学生も少なく、教員の定着率もきわめてよいのが特徴でもあります。その特徴を高校の教師に知っていただけよう、高校の教師対象のガイダンスも考えています。社会に貢献できる看護職を育て上げることが、私たちの使命です。今年度も、学生・会員の皆様のご期待に応えられるよう、全力で取り組みますので、今後とも一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

**2回生国家試験合格率96.4%!!
全国平均89.6%を上回る**

看護学生が避けて通れない最後の閉門、看護師国家試験。膨大な量の知識を学び、難しい技術を習得し、睡眠不足と戦いながら実習をやり遂げ、広く深い看護の心を育んできましたが、国家試験に合格しなければ、看護師になれません。

「看護学校入学が、看護師になることを100%保証してはいない」ことを入学時より聞かされてはいますが、切羽詰らなければ取り組みめないのが現状。3年生は11月の統合実習終了後、本格的に国家試験に取り組みました。寸暇を惜しみ集中学習した結果が93.8%という結果につながりました。今度こそ「全員合格」と思い取り組んできましたので100%を達成できなかったのは非常に残念です。今回不合格の学生は准看護師の資格を取得しているの、それぞれの医療施設で働きながら次年度の合格を目指すことになります。



第2回生同窓会員に!!

第2回生は卒業と同時に同窓会員になりました。同窓会総会が3月5日に行なわれました。前年度の役員が再選され、新たに2回生の幹事に加藤明子さん、渡邊晃代さんが選ばれました。

オープンキャンパスについて

26年度の入学生確保は、水戸市内に新たに2校の看護学校が開校されたことも影響して苦戦を強いられました。今年度のオープンキャンパスは5月から開始となります。参加して下さった方々に模擬授業も体験していただきたく趣向を凝らしています。血圧測定、沐浴指導、移動援助や人形を使っての観察方法などを一緒に行ないましょう。日程は次のようになります。なお、学校見学は随時受け付けています。

H26.5/24(土)、6/21(土)、7/26(土)、
8/23(土)、9/20(土)、10/11(土)、11/2(土)
学校祭、12/6(土)H27.1/10(土)、2/14(土)



平成25年度会計報告

収入 248,000円(52名分会費)
支出 8,350円
(ハルデン祭食券提供費用として)
繰越金 239,650円

繰越金は、図書室のプリンター等を購入寄付する予定です。

「感謝の思いを胸に」2回生28名 巣立ちのとき



茨城北西看護専門学校で3月8日平成25年度の卒業証書授与式が行われました。卒業生28名は看護の道へ新たな一歩を踏み出し県内外での活躍を誓いました。式では来賓、実習病院関係者、講師、在校生、ご家族の方々、学校関係者が見守る中、鈴木邦彦学校長が一人一人卒業証書を手渡し、心温まる祝辞を頂きました。卒業生を代表して上田弘通君は「今日のこの日を迎えられるのは、本当に多くの方々の支えがあったからだと思っている。私達は看護師の役割と責任の重さを感じると共にその素晴らしさにも気づくことができた。これまでに会ったすべての患者様への感謝の思いを胸にこれからも看護の道を進んでいきたいと思う」と答辞を述べました。

振り返れば不安と緊張の中スタートした2回生は18歳から41歳で平均年齢は24歳あまり。様々な背景や境遇の中、学業や臨地実習での学びを「継続こそ力なり」を合言葉に努力を重ね、団結力のあるクラスとして今日のこの卒業式を迎えました。一人ひとりの表情には自信や希望があふれ喜びの顔に変わっていました。この3年間で彼らが大きく成長できたことを関係者各位にお礼と感謝を申し上げますとともに地域医療の仲間入りをする彼らをこれからも温かく見守って頂きたいと思っております。

サークル発足

エネルギッシュな若者が集まる学校らしく、学生はのびのびと青春を謳歌しています。このたび「トータルスポーツクラブ」と軽音楽部の「TEAR DROP」が発足しました。次に「トータルスポーツクラブ」部長櫻村駿君の挨拶です。

このたび、私たちは「トータルスポーツクラブ」を立ち上げました。「トータルスポーツクラブ」は、富田先生を顧問として、男子8名、女子2名、マネージャー2名でバスケットボール、野球、フットサルの練習や練習試合などを行なっています。また、マラソン大会へも積極的に参加し、個々の体力維持・向上やゼッケンに学校名を掲載し学校の宣伝も兼ね行なっています。

活動の目的は、上記でも述べましたように学校の宣伝と言うこともありますが、それ以上に勉強だけに縛られた学校生活を送るのではなく、気分転換といった意味でもスポーツで身体を動かすことによりストレス発散にもなると思ったからです。

最後に「トータルスポーツクラブ」を通して、コミュニケーション能力や人間性向上につながっていけば看護師になってから役立つものでないかと考えています。

部員、マネージャーは男女問わず募集中です。

「TEAR DROP」の部長は柴田駿二君です。奮って応募してください。



ハルデン後記

大変お待たせいたしました。やっと2号が完成しました。学校・学生の様子を皆様にお知らせするせつかくのチャンスをうまく活用できずにいました。これからは年2回発行することをここに約束します。引っ込みがつかなくなってしまいました。(ハハハ)

卒業生(1,2回生)からの寄贈校旗です。感謝!



ゆるキャラ誕生!!

私たちの疲れを取るための癒しの「ゆるキャラ」を募集しました。多くの応募がありました。ありがとうございます。「ナースのたまごちゃん」です。皆さん可愛がってください。

「ナースのたまごちゃん」はしおりやキーホルダーになったり、イベントに参加する予定です。

